

第1回ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク会議の開催

静岡県と山梨県の両県にて「第1回ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク会議」が開催されました。今回の会議では日本風景街道への登録の申請にあたり、メンバーの方々からその申請内容についてご意見をいただくことを目的に開催しました。

静岡県では9月18日(火)に富士宮市役所にて、また、山梨県では9月26日(水)に、富士河口湖町でおこないました。

会議で出された意見をふまえ、申請書にまとめて、各県の審査組織である風景街道中部地方協議会と風景街道関東地方協議会に申請しました。



静岡会場には推進協会の土委員長、渡辺委員も出席してくださいました



走りやすさマップが完成しました

国が発行する富士山をぐるりと囲む国が発行する道路マップありそうで、実はなかったのです。今回の「ぐるり」の活動のなかで関東地方整備局管内の山梨県と中部地方整備局管内の静岡県が、組織の枠組みを越えて、道路の走りやすさマップを完成させました。



中日新聞へのPR 広告掲載！

風景街道中部地方協議会では、平成20年1月13日(日)より、中日新聞にて中部の風景街道を紹介する広告を12回の連載で掲載することとなり、ぐるり・富士山風景街道は、2回目の1月20日の日曜日に掲載されました。

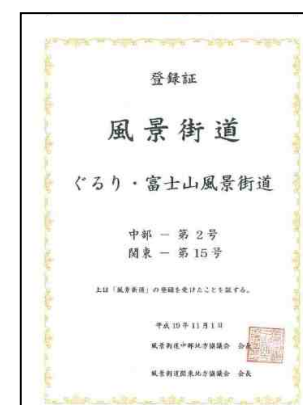
中部地方の風景街道 四季折々の富士山を360度楽しむ

富士山をぐるりと囲む風景街道が、中部地方整備局管内の静岡県と山梨県で完成しました。この風景街道は、四季折々の富士山を360度楽しむことができます。また、富士山の絶景や、美しい自然環境を堪能することができます。

県内風景街道の「なごみの伊豆なごみの道風景街道」は3月16日、浜名湖サイクリングロードは3月23日掲載です

日本風景街道への登録が認証されました！

平成19年2月に設立しました「ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク」も1年がたとうとしています。この間、春には「日本風景街道戦略会議」から風景街道を施策として進めるための提言が出され、秋には登録申請がはじまりました。ぐるり・富士山風景街道では、中部と関東に登録を申請し、中部第2号、関東第15号として登録認証されました。



平成19年11月1日名古屋に於いて、風景街道登録認証式が行われ事務局が認証式に出席してきました。



平成19年10月30日東京に於いて風景街道登録認証式が行われ、事務局が出席しました。

事務局連絡先

静岡事務局 NPO法人地域づくりサポートネット
420-0852 静岡市葵区紺屋町15-4 地域産業研究所 TEL.054-273-8041 FAX.054-271-0143 E-mail tisanken@sunny.ocn.ne.jp

山梨事務局 NPO法人CCCMまちづくり
400-0858 甲府市相生3-4-11 TEL&FAX.055-232-8661 E-mail npooccm@herb.ocn.ne.jp

富士宮市朝霧高原での活動紹介

富士宮市朝霧高原では、平成 19 年 8 月 9 日(木)に「国道 139 号朝霧高原地先歩道整備完了記念セレモニー」としてウォーキングイベント・記念サイクリングを開催し、さらに、11 月には「モデルウォーキング」と「みち下りモデルサイクリング」を実施し、拠点施設や観光施設を活用し、地域の魅力を知り、学んでもらうプログラムを検討しています。

ウォーキングは、11 月 12 日(月)、道の駅朝霧高原を拠点として、住民、市民団体、行政関係者、事務局である NPO を含め総勢 16 名が道の駅を出発し、国道 139 号から富士丘地区の草原、酪農を見て学び、ふもとっぱら、麓山の家、東海自然遊歩道を経由し、道の駅朝霧高原に戻る約 10 km のコースを約 3 時間 30 分かけて歩きました。また、サイクリングは、11 月 21 日(水)に、住民、市民団体、行政関係者、事務局など総勢 14 名が道の駅朝霧高原をスタートし、富士丘区、麓区、ふもとっぱら、猪之頭公園、陣馬の滝、小田貫湿原を経由し、田貫湖湖畔を周って休暇村に至る約 20 km を走りました。現在、これらのコースを常設化できるか話し合っています。



<笑みもこぼれる眺望ポイント>



<国道の横断が危険>



<わき道がおもしろい>



<地域の魅力の説明がポイント>

活動紹介(今回は富士山クラブ)

本号から、山梨県側メンバーの活動を順不同でご紹介します。今回は富士山クラブです。

清掃活動

富士山で深刻な環境問題の一つ ゴミの不法投棄。富士山クラブは市民のみなさんと清掃活動を行っています。今年度(1月現在)の参加人数は 6,320 人、回収したゴミの総量は 63,100 kg に達します。

富士山環境ゴミマップ

ゴミ問題の解決に向け、どこに、どんな、どれぐらいのゴミが落ちていのかを把握するため、富士山クラブでは、カメラ付き GPS 携帯電話を活用した調査を行い、結果を公開しています。

環境教育

豊かな自然の宝庫 富士山。その富士山を教材に、その素晴らしいところ、解決しなければならない環境問題などを学習する、さまざまな環境教育プログラムを実施しています。2007 年度は 4 月から 9 月までに 29 プログラムを実施し、1,575 人が参加しています。

森づくり

97 年の台風で倒壊した富士山の西臼塚(静岡県富士山スカイライン沿い)の森の再生を行っています。植林が終わり、現在は育林の作業を行っています。

シンポジウム

より多くの方に、日本の宝である富士山の現実を知ってもらい、そしてその自然環境の保護や保全に関心をもっていただくために、毎年 2 月 23 日(富士山の日)に国内外からゲストを招きシンポジウムを開催、また静岡・山梨などでもテーマを決めてフォーラムや活動発表会を行っています。

教材・資料製作

富士山への理解や関心を深めるために、富士山の自然や環境、歴史や文化、行事について、わかりやすく解説した、富士山学習のための CD 教材や読本を製作し配布しています。

会員活動

富士山クラブには、全国から富士山を愛する多くの会員が集っています。ボランティア活動に参加するだけでなく、富士山の自然環境に関するプロジェクトを会員が企画し、実行しています。また、海外とも姉妹山提携や NPO 団体・環境ボランティアの交流を続けています。

あなたもごいっしょに活動しませんか?



<不法投棄されたゴミ>



<清掃活動の参加者>



<環境教育のようす>